

霊峰八海山



教育目標「強く 明るく 伸びる子」

令和8年9月28日

<https://www.minamiuonuma.ed.jp/~oosaki>

校長 板垣 幸男

持続可能な社会の創り手の育成

千葉県を中心にまたもや大雨による被害が発生したものの、当校におきましては、子どもたちは夏休みに引き続きシルバーウィークも大過なく過ごすことができました。保護者・地域の皆様には様々なご配慮をいただき、ありがとうございました。感染症が心配な時期ですが、今後学校は親善陸上大会（6年生出場）を皮切りに、持久走記録会、火渡り大祭鼓笛パレード、学習発表会と、体育や音楽、総合等、これまでの学習の成果を発揮する行事がいくつも予定されています。また、国語・算数を中心とした教科学習も進めていきます。これらの活動を通して、子どもたちにとって「実り多い秋」にしていきます。

さて、学校便り第3号で、「ウェルビーイングの向上」についてふれましたが、今回は第4期教育振興基本計画の基本的な考えの、もう一つ「持続可能な社会の創り手の育成」についてふれていきます。

2040年以降の社会を見据えて

文部科学省はグローバル化や気候変動などの地球環境問題、少子化・人口減少、地域格差などの社会課題や国際紛争等による国際情勢の不安定化の中で、一人一人のウェルビーイングを実現していくためには、社会を持続的に発展させなければならないと考えています。特に日本は、少子化・人口減少が著しく、将来にわたり財政や社会保障などの社会制度を持続可能なものとし、現在の経済水準を維持しつつ、活力あふれる社会を実現するために、一人一人の生産性向上と多様な人材の社会参画を促進する必要があるとしています。これらの実現に不可欠なのは、「人」の力であり、「人への投資」を通じて社会の持続的な発展を生み出す人材を育成しなければならないと考えています。

求められる力、資質・能力

持続可能な社会の実現に、「一人一人が自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り開き社会の創り手になる」ことが重要であるとして、具体的に必要な力・資質・能力を「主体性」「リーダーシップ」「創造力」「課題設定・解決能力」「表現力」「チームワーク」等を例挙しています。

学校では、上記内容を念頭に、子どもたち一人一人が「持続可能な社会の創り手」となるよう教育活動を進めています。

【10月の主な予定】 1日（木）親善陸上大会＜6年参加＞※予備日2日 7日（水）クラブ活動 ※3年生見学 8日（木）持久走記録会 ※予備日9日 13日（火）就学時スクリーニング検査・生活朝会 15日（木）メディアコントロールデー 19日（月）音楽朝会	20日（火）火渡り大祭鼓笛パレード 23日（金）読み聞かせ＜1・3・5年＞ 27日（火）音楽朝会 28日（水）クラブ活動 30日（金）学習発表会前日準備＜6年：5限＞ 1～5年 給食後下校 31日（土）学習発表会
--	--